

【科研費応募支援ニュースレターNo.41】 発信日 251120 (木)

タイトル_RA 協議会第 11 回年次大会に参加して

教育職員 各位

URA 高木敦子

いつもお世話になり、感謝申し上げます。URA の高木敦子です。

今回は、2025 年 10 月 21 日 (火) ・ 22 日 (水) に熊本市の熊本城ホールにて開催された、RA 協議会第 11 回年次大会 (現地参加のみ、参加者約 800 名) に参加いたしましたので、ご報告いたします。年次大会は一般的な学会大会に近い形式で行われます。

RA (リサーチ・アドミニストレーション) 協議会 (<https://www.rman.jp/>) は、大学等で研究支援業務に従事する人々の専門性向上を目的として、2015 年に設立された団体です。URA のみならず、大学以外の研究機関の職員も含まれるため「RA」という名称となっています。研究力強化を通じて、我が国の学術・科学技術およびイノベーションに貢献することを目的としています。

今回のニュースレターでは、先生方にも有益と思われる演題をいくつか選び、概要を紹介いたします。

(1) 口頭発表 C-2 セッション「研究力の強化と評価」

『シチズンサイエンス：技術と社会をつなぐ新たな経路』

阿部麻衣子 氏 (academist Crowdfunding 事業責任者)

<発表内容>

研究資金獲得手段として、クラウドファンディング (CF) の活用が広がっている現状が紹介されました。科研費不採択後に CF で研究を継続し、その後科研費に採択、Nature 掲載に至った事例が報告されました。

<高木コメント>

CF の活用例として興味深い内容でした。academist (<https://academist-cf.com/>) もご参照ください。

(2) 口頭発表 Y-1 セッション

『データスチュワードの現場から 欧州・オランダでの RDM（リサーチデータマネジメント）サポートの現状と課題』

角南直幸 氏（アイントホーフェン工科大学）

<発表内容>

オランダでは 2016 年から DMP（データマネジメントプラン）提出が義務化され、2017 年からは大学への補助金によりデータスチュワード配置が進展。業務には DMP 作成支援、データ利活用支援などが含まれています。

<高木コメント>

日本で専門職が制度化されるかは不明ですが、今後注視すべき動向と感じました。

（3）口頭発表 Y-2 セッション（賛助会員セッション）

『寄付プロジェクトが大学の研究を変える！ 他大学の実践事例に学ぶ』

第一三共株式会社

<発表内容>

第一三共株式会社の寄付プログラム（1 件 2000 万円、用途非限定）は、若手研究者育成のため大学を対象とした支援である点が特徴。採択各大学から 4 件の事例報告がありました。

（4）ポスター発表 30

『論文作成における AI 活用の留意点』

納谷憲幸 氏（京都大学）

<発表内容>

AI 利用における倫理・ガイドライン・ポリシー遵守の重要性、開示方法、リスク対策等が示され、京都大学では「AI-assisted 論文執筆支援ツール」が試験導入されているとのことでした。

（5）ポスター発表 45

『熊本大学における融合研究促進の取組』

曾我美南 氏（熊本大学）

<発表内容>

「熊大 100 人論文」イベントの紹介。これは学会のポスター発表のような感じですが、発表者はその場にいる必要はありません。平日数日間、発表者が、ご自身のテーマを他分野の人にもわかるような簡単な説明、「こんなことを知りたい、話し合いたい、教えてほしいこと、コラボの希望」、「発表者ができる情報やスキルの提供」を書いた A4 で 4 枚くらいのポスターを作成し、教員と学生が期間内のいつでも見に来て、付箋紙で、コメント等にかくというものです。熊本大学では匿名発表で、匿名コメントです。75 件の発表、301 名参加、20 件以上のマッチングが成立し、学内交流の活性化が確認されました。

<高木コメント>

学内共同研究の推進、より大型の科研費申請促進や、学生さんへの大学院進学のための情報提供に有効かと思っておりますので、本学でも行ってみたいです。

（6）ポスター発表 60

『元 URA が製造業で実現した人文学分野の産学共同研究』

西澤真裕 氏（ローム株式会社）ほか

<発表内容>

理工系中心という従来のイメージに対し、人文社会系における産学連携の具体的取組が紹介されました。

今後も科研費申請や研究活動に有益な情報を共有してまいります。ご意見やご要望、面談の希望などございましたら、お気軽に URA までお知らせください。

本学 Web サイト：

研究・社会連携 » 科学研究費助成事業

https://www.osaka-sandai.ac.jp/research/grantinaid_scientific_research.html

(ID : kenkyu PW : sanken3001)

URA の高木敦子